

令和 6 年度 施策評価表

第 3 章 健康(けんこう)長寿のまち

まちづくりの目標	市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちをめざします。
分野別計画・指針	第2次所沢市保健医療計画、第5次所沢市障害者支援計画(障害児福祉計画)、所沢市放課後こども健全育成基本方針、第2次所沢市教育振興基本計画、第3次所沢市子どもの読書活動推進計画、所沢市いじめ防止基本方針、第2次所沢市スポーツ推進計画

第1節	健康づくり
関係所属	健康づくり支援課、こども家庭センター

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和5年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,282人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「健康づくり」 所沢市は市民が健康づくりに取り組むための支援や環境が充実している	600	26.3%	480	21.0%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R5年度目標値	R5年度実績	達成状況	R6年度目標値
	健康寿命の順位	位	5(男性)	2	10	×	1
			12(女性)	2	15	×	1

事業目標の達成状況

基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R5年度目標値	R5年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-1-1 主体的な健康づくりの推進	健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	歩	7,179	8,000	7,231	×	8,000
3-1-2 母子保健事業の充実	乳幼児健康診査受診率	%	94.3	98.5	94.6	×	99.0
3-1-3 食育の推進	食育に関する料理教室や講習会の開催回数	回	16	17	17	○	18
3-1-4 歯科口腔の健康保持・増進	むし歯のない3歳児の割合	%	87.3	87.9	95	○	88.0

節の基本方針への取り組み状況

- ◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 - トコトコ健幸マイレージ事業は、埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」を活用し、本市独自のポイント・景品を設定することで、より魅力ある事業となるよう努めた。また、庁内各課の実施する事業と連携し、イベント参加による独自ポイントを拡充することにより、市民の歩みを促進した。
 - 埼玉県が令和6年4月に新スマホアプリ導入等の事業見直しを予定していたため、それに伴う本市のマイレージ事業のリニューアルについて、広報への掲載や公共施設等でのチラシ配布・ポスター掲示等により周知を行った。なお、参加者の募集については、年度を通して各種事業でのチラシ配布等を行ったが、事業のリニューアルも予定されていたため、拡大に向けて取り組むにあたっては難しい面があった。(健幸マイレージ事業目標参加人数:14,000人、令和6年2月末(最終値)参加者数14,738人)
 - 乳幼児健康診査については、引き続き、保護者が安心して受診できるよう少人数予約制で実施した。3歳児健診では視力検査・屈折検査を実施し、視覚異常の早期発見・早期治療につなげた。
 - 食育に関する事業は、市民一人ひとりが、食を通して生涯に渡って健全な心身を培い、豊かな人間性を営むことができるよう、正しい食習慣や野菜摂取の大切さについて周知・啓発するため、料理教室や講習会を開催した。
 - 1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康教室において「むし歯はないが、むし歯リスクが高い者」に対し、個別歯科相談、二次指導を行った。
- ◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
 - 本市における健康寿命は毎年度延伸しており、令和5年に公表された最新の健康寿命は、平成29年公表の数値と比較し、男性は0.59年、女性は0.64年延伸しているが、健康寿命の順位に関しては、相対的なものであり、県内市町村が健康寿命の延伸に向けた取組を進めていることの影響を受けたと考えられる。
 - 健幸(健康)マイレージ事業の指標となる参加者の1日平均歩数は健康増進のために必要な歩数ということもあり、条件としては厳しいものであることから目標達成とはならなかった。しかしながら、市独自ポイント対象事業拡充等の歩きの促進に向けた取り組みにより、前年度との比較では増となった。(令和4年度 7,201歩)
 - 乳幼児健康診査については、疾患等により協力医療機関以外での受診や、転入により他市町村での受診者が一定数いるため、目標値には到達しなかった。未受診者については確認を行い、必要なケースには訪問にて受診勧奨を実施している。

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 健康づくりに向けた行動ができる市民を増やすため、糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病予防に関する相談や保健事業に取り組むとともに、健康づくりに関心の低い世代も含む幅広い層へのアプローチを充実する。
- 妊婦の全数面談、乳児家庭全戸訪問を継続し、育児不安やストレスの軽減を図ることにより、児童虐待等を未然に予防していくことが重要であり、こども家庭センターが中心となり、関係機関と連携し、妊娠期から出産、子育て期まで様々なニーズに即した切れ目ない支援を提供する。
- 市民一人ひとりが食の大切さを認識し、生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、関係団体等と連携して、地域全体で食育推進を行う取り組みを実施していく。
- 引き続き1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康教室において、むし歯リスクが高い者に対する個別歯科相談、二次指導を継続していく。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

- さらなる健康寿命の延伸に向け、予防や健康増進の観点から、市民の行動変容を促す取り組みを継続するとともに、トコト健幸マイレージ事業の実施や庁内関係課との連携による市民が楽しみながら歩くことができる取り組みを推進する。
- 本市の健康増進事業の中心的な取り組みとして、健幸(健康)マイレージ事業の参加者並びに平均歩数の増に向け、事業の周知及び情報発信に努める。
- 乳幼児健診受診率については、受診率向上につながるよう周知していくとともに、引き続き健診未受診者へ受診勧奨を実施していく。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナースhipで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう		

評価日	R6.7.12	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 中村 まさみ こども未来部こども家庭センター担当参事 山下 哲
-----	---------	--------	---

第2節	早期発見・疾病予防	
関係所属	健康管理課、健康づくり支援課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和5年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,282人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「早期発見・疾病予防」 所沢市は検診や予防接種など、病気を発見・予防する取組が充実している	937	41.1%	583	25.5%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R5年度目標値	R5年度実績	達成状況	R6年度目標値
	大腸がん検診の受診率	%	7.9	8.5	8.1	×	8.6

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R5年度目標値	R5年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-2-1	予防接種・感染症の情報提供	二種混合予防接種の接種率	%	77	83	84	○	84
3-2-2	生活習慣病予防の普及啓発	予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数	人	174	200	116	×	200
3-2-3	がん検診の普及啓発	がん検診の受診者数	人	40,170	46,000	43,400	×	47,000
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	こころの健康講座等の参加者数	人	3,246	3,375	3,505	○	3,400
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	思春期こころの健康相談の相談者数	人	28	31	23	×	32

節の基本方針への取り組み状況	
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○小学校入学前までの定期予防接種で使用する予診票を冊子化し一冊にまとめて、生後2か月前までに発送した。</p> <p>○HPV自己検査キットによる子宮頸がん検診受診促進事業として、28歳の女性を対象に案内し、希望者には無料でHPV自己検査キットによる検査を実施し、子宮頸がん検診の受診勧奨を行った。</p> <p>○40～69歳の国民健康保険加入者を対象に、がん検診の受診券等を送付する受診勧奨を行った。</p> <p>○バス検診で実施しているがん検診に、新たに子宮頸がん検診を追加した。</p> <p>○協会けんぽが実施する被扶養者向けの特定健康診査と、市による胃・肺・大腸がんのバス検診を合同検診として実施し、利便性及び受診率の向上を図った。</p> <p>○こころの健康講座は、思春期、発達障害、うつ病、統合失調症をテーマに6回開催した。</p> <p>○こころの美術展は、市役所1階ホールで5日間(令和5年10月2日～6日)開催した。</p> <p>○思春期こころの健康相談は、精神科医師からの専門的な助言や精神科受診を促すなど適切な支援を進めた。</p> <p>○予約制健康相談は、各種事業や地域での会議等での周知に加え、高齢者支援課や地域福祉センターなどと連携し周知を行った。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○大腸がん検診の受診率については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に7.5%(受診者数16,170人)まで落ち込んだが、受診勧奨の拡大等の取り組みにより徐々に受診者も増加し、8.1%(同17,850人)まで向上したところではあるが、目標値には至らなかった。</p> <p>○がん検診の受診者数については、個別検診の受診者数が増加傾向にある一方で、保健センター会場の集団検診及び市民医療センターの人間ドックオプションによるがん検診の受診者数が伸びなかったことから、コロナによる影響が解消されていなかったものとする。</p> <p>○思春期こころの健康相談は、医師との調整による実施回数の減や、相談者の都合による予約後のキャンセルが続いたことなどから、相談者数が減少した。</p> <p>○予約制健康相談については、スマートフォン等モバイル端末からの医療情報へのアクセスが容易になったことなどの影響が少なからずあり、減となったものとする。</p>	

今後の方向性	
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○「HPVキャッチアップ接種」及び「男性の風しん抗体検査・予防接種(第5期)」が、令和6年度で最終年度となるため、接種を希望される方が機会を逃すことがないように、さらなる周知に努める。</p> <p>○がん検診については、引き続き、定期・継続受診の重要性の周知啓発を行うとともに、受診しやすい環境の整備に努める。</p> <p>○予約制健康相談は、必要とする方に情報が届くよう積極的に事業の周知に努める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○がん検診については、令和6年度から約10万人の市民への受診券一斉送付と予約システムの運用を開始し、手続きの簡便化を図る。また、昨年度中に受診希望の多かったバス検診の実施回数を増やし、予約システムと併せて受診しやすい環境を整える。</p> <p>○思春期こころの健康相談は、市内高校の養護教諭に事業周知やニーズの確認を行い、必要に応じて精神保健福祉士が精神科医師に同行して高校等へ訪問するなど、丁寧な支援を進めていく。</p> <p>○予約制健康相談については、個々の生活に合わせた具体的な助言のできる相談事業として、必要とする多くの市民に活用していただけるよう周知を工夫するとともに、適切な相談対応に努める。</p>	

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R6.7.12	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 中村 まさみ

第3節	地域医療							
関係所属	保健医療課、市民医療センター							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和5年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,282人		満足、まあまあ満足 と回答した人数	満足度	力を入れてほしい と回答した人数	要望度			
「地域医療」 体調を崩したときに身近に受診できる医療機関がある		1,057	46.3%	779	34.1%			
評価指標の 達成状況	指標名	単位	(H29) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値	
	所沢地区病院群輪番制病院の実施	%	実施	現状維持	現状維持	○	現状維持	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値
3-3-1	救急医療の充実	在宅当番医制の実施状況	-	実施	現状維持	現状維持	○	現状維持
3-3-2	地域医療の充実	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績	人	821	850	674	×	850
3-3-3	市民医療センターの運営	地域包括ケア病床の利用率	%	-	90	74	×	90
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢地区病院群輪番制事業は、参加医療機関の協力により、輪番制による二次救急医療体制を整備することができた。</p> <p>○在宅当番医制事業は、所沢市医師会の協力により、祝休日及び年末年始の初期救急医療体制を整備することができた。</p> <p>○所沢市歯科診療所あおぞらは、一般歯科診療所での治療が困難な在宅要介護高齢者・障害児者を対象とした診療及び休日緊急診療を実施した。</p> <p>○市民医療センターの運用については、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことから、コロナ禍前の診療体制に転換する一方で、引き続き、市民からの需要が大きい発熱外来は継続して実施し、診療体制の維持強化に努めた。また、5類感染症に位置付け後は、新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたアフターコロナ患者のみならず、陽性患者の入院を受け入れ、陽性患者には抗ウイルス薬のペクルリーを投与した。また、感染症の拡大により制限していた入院患者への面会も徐々に緩和し、安心して治療に専念できる医療環境の提供に努めた。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○歯科診療所あおぞらについては、感染防止対策を目的に診療時間を従来より長く確保していること、体調不良等によるキャンセルが発生するなどにより受診者数が伸びず、目標値に達しなかった。</p> <p>○市民医療センターの地域包括ケア病床については、埼玉県西部圏域の回復期病床が不足し需要が高まっていたことから、8月に11床から13床に増床した。目標値には達しなかったものの、令和4年度に比べて、延べ651人(7%)増え、全体の病床利用率(56.8%→66.6%)の向上に改善が見られた。未達成の理由の一つは、病棟において新型コロナウイルスの集団感染が2度発生し、ベッドの回転率が低下したことが影響したものと考えている。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○県や保健所、所沢市医師会、所沢市歯科医師会、協力医療機関等と連携し、救急医療体制の維持や地域医療の充実に努める。</p> <p>○所沢市歯科診療所あおぞらについては、利用者アンケートや関係団体のご意見を参考にしながら、質の高い歯科診療の提供に努める。</p> <p>○市民医療センターでは、市内医療機関等との連携体制を継続し、小児初期救急医療体制の維持と安定的な運営に引き続き努める。</p> <p>○市民医療センターでは、急性期を脱し、病状が安定した患者の在宅復帰に向けて、リハビリテーション機能の更なる充実に努める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○障害者歯科診療については、所沢市歯科医師会や関係団体と協力し、パンフレットの配布やHPIによる情報発信の強化により、事業の周知に努める。また、感染防止対策を講じながら、適切な予約管理や診療間隔の工夫により、多くの利用者を受け入れることができる診療体制を整える。</p> <p>○市民医療センターについては、急性期及び回復期の患者のほか、引き続き新型コロナウイルス感染症の陽性患者(軽症患者)の入院を受け入れ、病床管理の調整を図る。</p> <p>○市民医療センターの地域包括ケア病床の周知を行い、地域の医療・介護・福祉との連携を深め、病床利用率の向上を図る。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R6.7.12	記入者職氏名	健康推進部次長 小山 貴之 市民医療センター事務部総務課長 粕谷 憲之

第4節	医療保険・医療情報							
関係所属	国民健康保険課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和5年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,282人			満足、まあまあ満足 と回答した人数	満足度	力を入れてほしい と回答した人数	要望度		
「医療保険・医療情報」 所沢市から医療に関して必要な保険サービスが提供されている			660	28.9%	547	24.0%		
評価指標の 達成状況	指標名		単位	(H28) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値
	特定健康診査の受診率		%	39	60	38.4 (R4)	×	60
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値
3-4-1	保険給付の適正化	第三者行為求償件数	件	45	現状値 以上	32	×	現状値 以上
3-4-2	特定健康診査等の充実	30歳代の被保険者の健康診査受診率	%	9.7	20	13.2	×	20
3-4-3	生活習慣病重症化予防 の対策	人工透析の新規移行者数	人	35	現状値 以下	32	○	現状値 以下
3-4-4	ジェネリック医薬品の利 用促進	ジェネリック医薬品の数量シェア	%	71.9	80	82.5	○	80
3-4-5	後期高齢者医療制度の 充実	後期高齢者健康診査の受診者数	人	13,125	16,200	16,877	○	16,900
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○第三者行為求償案件の発見に資する取り組みとして、埼玉県国保連合会が作成している「第三者行為求償対象候補一覧表」を活用し、第三者データと突合することにより第三者行為該当レセプトを抽出し、対象者に届出励行の通知を行った。</p> <p>○特定健康診査の受診率向上のため、受診勧奨ハガキ及び通知、早期受診キャンペーンの実施等に取り組んだ。</p> <p>○医療費適正化のため、県の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に参加し、保健指導の参加者を増やす取組(参加勧奨ハガキの発送)を行った。ジェネリック医薬品の数量シェア向上のため医師会・薬剤師会・歯科医師会への協力依頼(ポスター、シールの発送)を行った。</p> <p>○後期高齢者の健康保持・増進のため、健康診査を実施した。実施に際しては対象者に受診券を個別送付したほか、医療機関等にポスターを掲示した。また、地域ケア会議、民生委員、シルバー人材センター等に健診の案内を配布した。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○第三者行為求償事務については、被保険者数の減少から総数も減少傾向にあることが要因と考えられる。</p> <p>○特定健康診査受診率については、R5受診率の途中経過を分析すると、9月の受診勧奨後は増加がみられるが、その後の伸びは鈍い状況である。依然として、40歳代の受診率が低いので、引き続き、若年層に働きかける必要がある。</p> <p>○30歳代健診については、勧奨回数を1回から2回に増やすことにより、1%以上の上昇がみられたものの目標値には至らなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○特定健康診査等の受診率向上に向け、未受診者勧奨(ハガキ及び通知の発送、商工会議所へのポスター掲示協力依頼、自治会回覧等)に取り組む。</p> <p>○医療保険部門と保健部門と福祉部門が連携して、高齢者保健事業に取り組む。国民健康保険課では、保健師が全体の企画・調整を行うほか、ハイリスクアプローチとしてイベントの実施と訪問を行う予定である。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○保険給付の適正化のため第三者求償案件の発見に資する取り組みを継続して行っていく。</p> <p>○特定健康診査等の受診率については、年代別のメッセージを勧奨通知に加えるなど、未受診者を階層化して受診勧奨を実施する。</p> <p>○30歳代健診については、目標値の見直しを行うとともに、昨年度の取組効果を考慮し勧奨回数を同じ2回とする。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公平をすべての人に
	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R6.7.12	記入者職氏名	健康推進部次長 小山 貴之

第5節	スポーツ推進								
関係所属	スポーツ振興課								
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和5年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,282人			満足、まあまあ満足 と回答した人数	満足度	力を入れてほしい と回答した人数	要望度			
「スポーツ推進」 所沢市はスポーツ活動やスポーツに触れる機会が充実している			372	16.3%	331	14.5%			
評価指標の 達成状況	指標名		単位	(H29) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値	
	スポーツを楽しんでいる市民の割合		%	47.6	50.5	45.4	×	51.0	
事業目標の達成状況									
基本方針		事業目標		単位	(H29) 現状値	R5年度 目標値	R5年度 実績	達成 状況	R6年度 目標値
3-5-1	スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進	週1回以上スポーツを実施する成人の割合		%	38.2	50	51.9	○	52
3-5-2	競技会場の確保や交流機会の充実	ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数		人	4,554	6,300	6,752	○	6,600
3-5-3	スポーツ活動の支援と環境整備	スポーツ・レクリエーション施設利用者数		人	858,492	861,500	801,114	×	862,000
3-5-4	スポーツに触れる機会の充実	市ホームページ等のスポーツ情報発信数		回	213	300	432	○	315
節の基本方針への取り組み状況									
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民体育館開館20周年記念事業「市民体カテスト」を行い、多くの市民が参加した。 ○世界水泳選手権大会2023福岡に参加するため、イタリア水泳代表チームが早稲田大学所沢キャンパスで事前合宿を行った。滞在期間中にイタリア水泳代表チームと市民との交流事業を実施し「みる」スポーツの推進を図った。 ○「ところざわアスレチックフェスティバル」を開催し、陸上競技を通じて市民の健康増進及びスポーツ振興を図った。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評価指標については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、低調な状況が続いており、目標は未達成となった。新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に5類に移行され、スポーツイベントなどコロナ禍前の状況に戻りつつある。 ○スポーツ・レクリエーション施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人数制限を撤廃し、各種大会も開催されるようになり、利用者数は増加しているものの、目標は未達成となった。目標達成に向け、平日昼間の利用促進などを図る。 									
今後の方向性									
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度から5年間の計画期間として「第3次スポーツ推進計画」を策定した。第3次計画の基本理念「市民の誰もが、スポーツにふれ、スポーツで笑顔があふれるまち」に向け、市民の誰もが参加できるユニバーサルスポーツの体験会や本市ゆかりのアスリートの応援を通してスポーツを楽しんでいる市民を増やす。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが気軽に楽しめるユニバーサルスポーツの体験会、健康体操教室、親子で楽しむスポーツイベント等、ライフステージに応じてスポーツを楽しむ環境づくりを推進する。 ○ゆかりのアスリートに関する情報発信、各種大会の情報発信をホームページ、ほっとメールに加え、XやInstagramを通じて積極的に行うことでスポーツに親しむきっかけづくりを行う。 									
SDGsへの貢献									
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう						
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを						
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任						
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を						
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう						
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう						
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公平をすべての人に						
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう						
9	産業と技術革新の基盤を作ろう								
評価日	R6.7.12	記入者職氏名	教育総務部次長 池田 淳						